

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-04-01		
施設名	ゆいの森あらかわ				
所在地	荒川区荒川二丁目50番1号				
部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	23~28年度	6,655,091	国・都	3,817,000
	増改築①			区債	2,006,485
	増改築②			一般財源	
併設施設					
竣工年月日	平成29年1月31日		区職員	84	その他
供用開始年月日	平成29年3月26日		職員数	84	19
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上5階・地下1階	
面積	敷地面積			4,111	m ²
	延床面積			10,944	m ²
設置目的・経緯	利用者が自ら学び体験し、人と人が交流できる地域の文化やコミュニケーションの拠点づくりを推進する。				
関連部署	地域図書館課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立ゆいの森あらかわ条例				
駐車場の状況	12台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	370台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	(1) ゆいの森あらかわ事務管理・運営に関する事業 (2) ゆいの森あらかわ子どもひろば運営等に関する事業 (3) 吉村昭記念文学館推進事業 (4) 中央図書館運営事業					
対象者	区民等					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後8時30分				
	休日	毎月第3木曜日、特別整理日、年末年始 他				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	来館者数	697,418	355,860	510,961	618,902	650,400
	利用登録者数	28,740	27,507	31,994	34,739	35,627
	所蔵資料数(点)	402,779	413,563	419,233	427,517	428,000
	貸出利用者数(人)	191,372	151,414	182,970	271,778	272,556
	貸出資料数(点)	727,666	608,091	738,031	744,966	747,156
	開館日数(日)	337	289	335	338	339
	イベント開催数(回)	513	321	350	405	428
に指定管理 に係る費用						
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月8日～5月29日まで臨時休館					

III 財務諸表

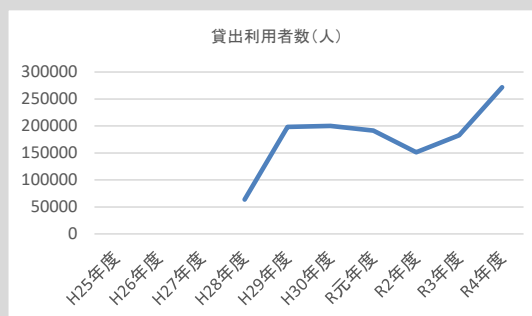
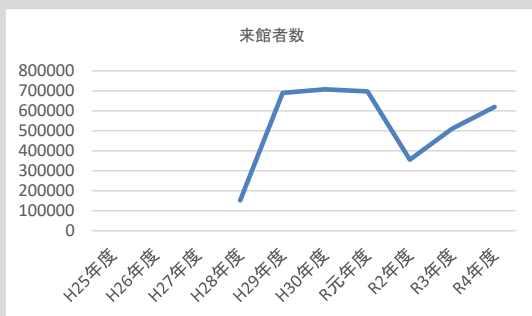
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	行政収入				流動負債	固定負債	正味財産			
行政コスト計算書	給与関係費	378,217	389,509	11,292	地方税等	0	0	0	0	0	0	
	物件費	363,575	313,840	▲ 49,735	国庫支出金	3,840	3,298	▲ 542	3,840	3,298	▲ 542	
	維持補修費	4,055	6,549	2,494	都支支出金	2,711	2,666	▲ 45	2,711	2,666	▲ 45	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	3,317	3,703	386	使用料及び手数料	4,536	7,291	2,755	4,536	7,291	2,755	
	減価償却費	255,443	252,900	▲ 2,543	その他	7,679	6,758	▲ 921	7,679	6,758	▲ 921	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	18,766	20,013	1,247	18,766	20,013	1,247	
	賞与・退職給与引当金繰入額	8,775	10,337	1,562	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 994,616	▲ 956,825	37,791	▲ 994,616	▲ 956,825	37,791	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 8,499	▲ 7,933	566	▲ 8,499	▲ 7,933	566	
	行政費用合計(b)	1,013,382	976,838	▲ 36,544	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,003,115	▲ 964,758	38,357	▲ 1,003,115	▲ 964,758	38,357	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,003,115	▲ 964,758	38,357	▲ 1,003,115	▲ 964,758	38,357		
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	200	200	流動負債	267,800	268,878	1,078	267,800	268,878	1,078
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	259,025	259,588	563	259,025	259,588	563	
	有形固定資産	6,880,662	6,635,838	▲ 244,824	賞与引当金	8,775	9,290	515	8,775	9,290	515	
	土地	1,622,139	1,622,139	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	0	
	建物	6,431,429	6,431,429	0	固定負債	2,199,826	1,941,766	▲ 258,060	2,199,826	1,941,766	▲ 258,060	
	建物減価償却累計額	▲ 1,211,500	▲ 1,453,834	▲ 242,334	特別区債	2,103,796	1,844,208	▲ 259,588	2,103,796	1,844,208	▲ 259,588	
	工作物等	63,760	63,760	0	退職給与引当金	96,030	97,558	1,528	96,030	97,558	1,528	
	工作物等減価償却累計額	▲ 25,167	▲ 27,657	▲ 2,490	その他の固定負債	0	0	0	0	0	0	
	無形固定資産	143	111	▲ 32	負債の部合計	2,467,626	2,210,644	▲ 256,982	2,467,626	2,210,644	▲ 256,982	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	4,457,643	4,461,926	4,283	4,457,643	4,461,926	4,283		
その他の固定資産	44,464	36,421	▲ 8,043	正味財産の部合計	4,457,643	4,461,926	4,283	4,457,643	4,461,926	4,283		
資産の部合計	6,925,269	6,672,570	▲ 252,699	負債及び正味財産の部合計	6,925,269	6,672,570	▲ 252,699	6,925,269	6,672,570	▲ 252,699		
備考	行政費用では、主に給与関係費が増加している。また、物件費の減少は、図書館オンラインシステム導入費用等の委託料である。行政収入では、地下駐車場使用料、カフェ・自動販売機の貸付料(使用料及び手数料)及び乳幼児一時預かり利用料の増加や図書購入を目的とした指定寄附金(その他)の減少となっている。											

指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	11	15	19.0	22.8	
	1㎡当たりコスト(円)	85,584	87,565	92,599	89,260	
	人にかかるコストの割合(%)	37	42	38	40.9	
	蔵書回転数(貸出冊数/蔵書数)	2	1	2	2	
	貸出1冊当たりコスト	1,287	1,576	1,373	1,311	
	開館1日当たりコスト(円)	2,779,252	3,315,889	3,025,021	2,890,053	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,343	2,693	1,983	1,578	
備考	前年度と比較して、1㎡当たりコストが3,342円、開館1日当たりのコストが135,062円、利用者1人当たりのコストが405円減少している。これは、図書館オンラインシステムの導入完了に伴い、行政費用(物件費)が減少したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	入館者数	目標値	721,000			580,000	650,400
		実績値	697,418	355,860	510,961	618,902	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	子どもから大人あらゆるまで世代に利用され、知の情報発信基地、地域コミュニティの中核施設としての役割を担っており、必要性は高い。						
現状・課題	○安全で安心して滞在できる快適な施設となるよう、「おもてなしの心」をもったサービスの提供や利用者の視点に立った環境の整備をさらに行っていくとともに、感染症拡大の防止を図り安全な施設運営を行っていく必要がある。 ○いつ来ても新しい発見や変化を感じられる魅力ある施設となるよう、読書を愛するまち・あらかわ宣言及び豊かな心を育む読書のまちづくり条例の趣旨を踏まえた各種事業、イベントや展示等を継続的に実施していく必要がある。 ○区民に身近で愛される施設となるよう、ゆいの森の運営をサポートするボランティアの育成を図っていく必要がある。 ○施設の計画的な修繕の実施や予防保全の観点から施設の中長期的な修繕計画を検討することにより、施設の長寿命化を図る必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○職員の接遇のさらなる向上のための研修等の実施、安全・安心な施設利用のための感染症拡大防止対策の実施 ○イベント、企画展示等の計画的な実施、他部署や関係機関、地域団体等多様な団体との連携 ○各種ボランティア講座の開催、ボランティアの活動の場の提供、各種ボランティア団体の交流・連携 ○施設の定期点検等を通じた計画的な修繕の実施、予防保全の観点から施設の修繕計画の検討						
議会、利用者等からの意見	H29 6月会議 ・福井県立文学館や、他自治体との交流・連携について H30 6月会議 ・明治維新百五十年の企画展(彰義隊)について R02 文教子育て ・絵本館のサインの充実について R02 文教子育て ・本との出会いのきっかけとなる取組について						



来館者数が令和2年度に減少しているのは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため臨時休館やサービスの一部を停止としたためである。

貸出利用者数が令和2年度に減少しているのは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため臨時休館やサービスの一部を停止としたためである。